

テーマ

## 知識人の役割とは何か？

適用  
分野

現代フランスに対する理解  
を深める



研究  
名称

19世紀及び20世紀のフランス人知識人と日本における受容 外国語としてのフランス語教育

氏名  
所属

CHICHE Didier 教授  
国際言語文化センター

内容

●**特徴：** ヴィクトル・ユゴーを始めとする19世紀・20世紀のフランスの知識人をめぐる歴史、フランス文学を通して「共和主義」・「人権」・「国家主義」・「非宗教性」などの概念に焦点を当て、フランス人のメンタリティーの変遷を主に研究している。一方、これらの思想が日本の知識人に与えた影響も大きいことから、日本における受容の歴史も辿っていく。

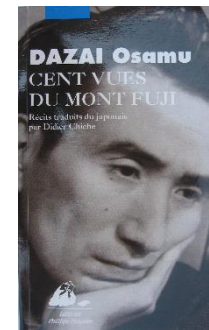
他方、日本でのフランス語教育改善のため、学生の理解力・表現力を高める教材の研究・作成も行っている。

●**研究内容：** フランス革命により、旧体制を倒し共和制に移行したフランスは、徐々に人権・個人主義・政教分離の原則に基づく独自の政治体制を固めていく。その思想的な牽引役を担ったのがヴィクトル・ユゴー（1802-1885）である。ユゴーは、文豪としてばかりでなく政治家としても活躍し、「社会に参画する知識人」の原型となり、そのあり方は世界に伝播していった。

現代フランス社会では、移民の増加やグローバル化による様々な問題が表面化し、共和制の社会モデルを継承するか否かについて、知識人の間でホットな論争が起こっている。

このような状況下で、ヴィクトル・ユゴーに代表される19世紀以降の知識人の歴史を考察し、共和制モデルを検証することは、現代フランス社会とフランスのアイデンティティーを理解する上で重要と考えられる。

また、太宰治などの日本文学作品のフランス語訳も行っており、日本とフランスの相互理解に取り組んでいる。



太宰治の作品のフランス語訳

キーワード

ヴィクトル・ユゴー、ロマン・ロラン、知識人、共和制、自由の概念、知識人の独立、人権、非宗教性

連携方法

講演  研修  研究相談  学術調査  コメント  共同研究